

今回1名が質問し、  
その要約を掲載しました。

藤咲 芙美子 議員…………… 11

1. ごみ処理計画について
2. 就学援助費補助金について
3. 医療福祉費支給制度（マル特）について



## 一般質問

# 町政を問う



藤咲 芙美子 議員

# 循環型ごみ処理の町づくりの考えは

〈町長〉 今後ごみ減量化には町としても取り組んでいきたい。

**藤咲** 現在、ごみ焼却炉の建て替えを計画中和聞が、ごみを燃やすだけのやり方から脱却し、ごみ減量、再利用、再資源化という循環型社会に踏み出す最良の機会だ。出されたごみをただ燃やすだけでは焼却炉の傷みを早め燃料をより消費し、町の財政に負担をかける。ごみ問題の対応によって自治体と住民が一体となった、新しいまちづくりの第一歩になると考えられる。全国の自治体の中には焼却ごみを大幅に削減したことによって焼却炉の廃止や新増設の中止などが可能になり、6億円も削減した自治体がある

と聞く。良質のたい肥作りに成功し優良の農産物の生産に貢献しているところもある。そこでは雇用の創出にも役立っている。当町の焼却炉の建て替えにあたり、そのような施策を講じる考えはないか。



**町長** 補助金の関係があるのでこの機を逃さず29年度から着手したい。解体工事も含め5年以内の実施する。今後ごみ減量化には町としても取り組んでいきたい。

## 新入学児童生徒学用品費（入学準備金）の支給時期を早める考えは

《町長》 周辺市町村の状況を見ながら検討していく。

**藤咲** 経済的に困難を抱えた子どもに對する支援制度だが、それを入学準備に間に合うよう時期を早めて支給をしてほしい。また、要保護世帯の就学援助の補助単価が国において引き上げられた。当町でも単価の引き上げを要望する。保護者にとっても児童・生徒にとっても安心して入学に望めるよう取り入れてほしい。



## 医療福祉費支給制度（マル特）について

《町長》 窓口負担の件は検討したい。

**藤咲** 医療福祉補助制度で県内の自治体が対象年齢の拡大などに踏み切っている。高校生までの医療費拡充と窓口負担の無料化を求める。

**町長** 窓口負担の件は検討したい。高校生の医療費については、いつからかとは申し上げられない。

